



青南だより

平成31年春休み号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

〈かえで組ありがとうパーティー〉

普段から学年の枠を越えた交流をしていた子どもたちは、互いに相手のことを思って、お別れ会を企画したり、プレゼントを作ったりしました。かえで組にお礼やお祝いの気持ちを込めて、手作りの鉛筆立てや色とりどりの首飾りを手渡しました。お互いにすてきな歌を披露し合った後は、縦割りグループで一緒に弁当を食べました。子どもたちが育てた小松菜や大根を年中児が初めて調理した野菜スープは、採れたて野菜の味がやさしく感じられ、おいしくてみんな笑顔になりました。



かえで組さん、いろいろ教えてくれてありがとう

〈終わりと始まりがつながる日々〉

15日には、かえで組が立派に修了証書をもらい、晴れ姿を大勢の皆さんに祝っていただきました。年中児は、かえで組よりも長時間式場でお祝いしました。よく頑張りました。年少児も途中で参加し、かわいい歌と言葉を届けました。翌週からは年中児がウサギやカメの世話をしたり、年長の部屋で遊ばせてもらったりしています。年少児は何度も2階に行っては、下を見下ろす眺めのよさを実感し、それぞれが一つ上の学年になることを心から楽しみにしている様子が見てとれます。



3学年が一緒にお弁当とスープをいただきました

〈共に子どもたちを育くむ仲間として〉

幼稚園での初めての集団生活は、保護者の皆さんも心配なことがあったことでしょう。それでも、どの子の姿にも、それぞれ大きな成長が感じられます。それは保護者の皆さんが幼稚園と心を一つにして、子どもたちのために様々にご協力いただいたからこそ実現できたことです。心の根っこを育てたいと願ってきましたが、それを実現するためには、保護者や地域の皆様と共に働くことがいかに大切かを再認識した一年でした。改めて深く感謝します。本当にありがとうございました。



修了式では、花道での祝福ありがとうございました

・青南は みんなの心のふるさと・

青南の 二十四節気

都会でありながら、歴史と文化の香り高い南青山・青南幼稚園にはとても豊かな自然がたくさんあります。青南はみんなの心のふるさとです。今年度も、昨年度に引き続き、この街や園内外の自然の移り変わりに心を寄せて、「青南の二十四節気」をお届けしてきました。それは、身近な自然とのかかわりが、子どもたちの心を育てる情操教育にとって大事だと思うからです。

かえでの木は、修了式の少し前から新芽が芽吹き始めました。桜は、修了式にはまだつぼみの状態でしたが、終業式の日には一分咲き、二分咲きになりそうです。

さて、終業式では、年少・年中の一年間をしっかりと終えたことをお祝いする手作り修了証書を手渡します。4月からは、幼稚園の新しい弟妹を迎えて先輩となります。そのためには、毎日元気に幼稚園に通ってくれることが何より大切です。どうぞよろしくお願いいたします。



張り切って年中児が生き物の世話をしています



園庭の桜が少しずつ花を開き始めました